

委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】
実施内容報告書

受託団体名 静岡県ベトナム人協会

1. 事業名称

「在日ベトナム人生活者のための日本語教育推進事業」

2. 事業の目的

本事業は、静岡県に在住する在日ベトナム人を主な対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力等を習得するために、静岡県浜松市の地域実情に応じた日本語教育実践プログラムを行うことを目的とする。

3. 事業内容の概要

1. 在日ベトナム人を対象として、入門、初級、中級と3段階のレベルに分け、各クラス10人程度の人数で、日本語講師とバイリンガル講師により、「生活者のための日本語教育」を実施する。
2. 日本語教育の専門家の方と協力し、地域で「日本語教育」を実施している日本語講師向けに「生活者のための日本語教育」を行う人材研修を実施する。
3. 日本語講師とバイリンガル講師が協力して、地域で「日本語教育」を実施している日本語講師向けに「ベトナム語とベトナム文化講座」の人材研修を実施する。
4. 在日ベトナム人を対象とし受講者の実情に合わせた学習教材を、日本語講師とバイリンガル講師が協力して作成する。

4. 事業の実施体制について

本事業を行うにあたり、浜松市、浜松国際交流協会(HICE)、日本語教育の専門家、地域の各種日本語教育の団体(NPO法人を含む)と連携を行っている。具体的には、人材研修においては、浜松国際交流協会を通じて各種日本語教育の団体(NPO法人を含む)の日本語教師の方の参加を呼びかけ参加していただいた。教材作成においても浜松市や地域の施設等に各種情報をお願いして作成した。日本語教育においても、地域の各種イベントに参加し、地域住民との交流を実施した。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	青山 利幸	浜松日本語学院
2	袴田 麻里	静岡大学大学国際交流センター
3	村田 和彦	(財) 浜松国際交流協会
4	服部 弘之	行政書士 服部国際法務事務所
5	堀 永乃	グローバル人材サポート浜松
6	古橋 楓	日本国際社会事業団
7	山田 明	静岡県ベトナム人協会
8	菊地奈々子	日本語学校
9	西崎 稔	楽器製造会社

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年5月24日(日) 16:00～18:00	2時間	三方原カトリック教会	袴田麻里、村田和彦、服部弘之、堀永乃、山田明、菊地奈々子、西崎稔	(1) 運営委員紹介 (2) 日本語教育事業計画の方針、計画説明 (3) 日本語教育事業の検討(意見交換) (4) 日本語教育事業の今後の予定 日本語教育事業の方針と事業計画の説明を行い了承された。今後SNS等を用いて広く日本語教室の活動を広める活動を行う。
2	平成27年9月13日(日) 16:00～18:00	2時間	三方原協働センター	袴田麻里、村田和彦、堀永乃、古橋楓、山田明、菊地奈々子、西崎稔	(1) 日本語教育事業の経過報告 (2) 日本語教育事業の今後、予定説明 (3) 日本語教育事業の検討(意見交換) 三方原教会の改装に伴う日本語教室の開催場所の変更等について説明。日本語講座を前期後期に分けニーズに合った内容に変更する事を了承。
3	平成28年1月24日(日) 14:00～16:00	2時間	三方原カトリック教会	袴田麻里、村田和彦、堀永乃、古橋楓、山田明、菊地奈々子、西崎稔	(1) 今年度の日本語教育事業の結果報告 (2) 今年度の日本語教育事業の反省、課題(意見交換) (3) 来年度の日本語教育事業の予定説明 日本語講座における出席率の向上への取組について説明、了承。来年度は地域活動に参加するプログラムを企画し実施する旨、提言あり。

6. 日本語教育の実施

(1) 活動名称

在日ベトナム人生活者のための日本語教室

(2) 目的・目標

「生活者のための日本語教育」のプログラムにおいて、地域社会で通用する日本語でのコミュニケーションの方法を学ぶことによって、各学習者が自分の希望する、「日本語を用いたコミュニケーション」のレベルに達することを目標とする。

(3) 対象者

成人した在日ベトナム人を中心とするが、他の外国人の受講も可能。日本語の学習履歴も問わない。

(4) 使用した教材・リソース

平成24, 25, 26年度に、静岡県ベトナム人協会で作成した日本語教材を参考に、平成27年度に新規作成した教材。

(5) 参加者の総数

31 人

そのうちの日本語学習者数 31人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	・
ブラジル	人	ペルー	人	・
ベトナム	30人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	人	

(6) 開催時間数(回数)

60 時間 (全30回)

(7) 日本語教育の実施内容

入門、初級、中級と3段階のレベルに分け、実施。
＜中級クラス＞

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月31日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	6人	オリエンテーション 自 己紹介	名前、日本に何年? 住んでいる 所、仕事、家族紹介。日本語で 困ったこと、将来の目標や学び たいことを聞く。	菊地奈々子	アムトウイフォン
2	平成27年6月5日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	5人	私の家	どんなうちですか。(形容詞を用 いて文を作る) 間取り図を 描く。不満か、満足か?	菊地奈々子	アムトウイフォン
3	平成27年6月7日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	4人	あなたの家はどこ?	あなたの家へ行きたいです。ど こにあるか教えてください。	菊地奈々子	アムトウイフォン
4	平成27年6月14日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	4人	日本の生活、安い?高 い?	日本とベトナムの物価を比べる。 生活費色々。(漢字クイズ)	菊地奈々子	アムトウイフォン
5	平成27年6月19日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	安く生活する方法	服や食品、旅行、パーティ、散髪 などについて安く抑えるために 工夫していること	菊地奈々子	アムトウイフォン
6	平成27年6月21日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	3人	仕事はどうですか。	子供の頃したかった仕事と今の 仕事。仕事でうれしい事やイヤ な事。日本での働き方と国との 違い。	菊地奈々子	アムトウイフォン
7	平成27年6月14日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	4人	健康のために	健康のために～するようにして います。病院へ行った経験を話 す。	菊地奈々子	アムトウイフォン
8	平成27年6月28日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	4人	病気～症状から	病院体験。医者との会話。(漢字 クイズ) 友達に医者に行くよう勧 める。	菊地奈々子	アムトウイフォン
9	平成27年7月3日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	天気図を読む	梅雨前線、高気圧、低気圧、台 風。天気の言い方。天気を話題 にする会話。	菊地奈々子	アムトウイフォン
10	平成27年7月5日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	3人	救急車を呼ぶ	119番への電話のかけ方。オノ マトベクイズ。	菊地奈々子	アムトウイフォン
11	平成27年7月12日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	4人	日本の家庭料理	日本の料理の種類などを知る。 料理をみんなで作るにあたって、 作り方の予習。	菊地奈々子	アムトウイフォン
12	平成27年7月17日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	調理器具など確認	調理に使うものや調理法の日本 語を学ぶ。(漢字を確認しなが ら)	菊地奈々子	アムトウイフォン
13	平成27年7月19日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	3人	料理を作ろう(水餃子と揚 げ春巻き対決)	実際に料理に携わりながら日本 語に触れる。味の確認(日本語 で)	菊地奈々子	アムトウイフォン
14	平成27年7月24日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	旅行しますか	夏休みに、もし行きたいとしたら どこへ行きますか。夏にしたい1 0のこと。	菊地奈々子	アムトウイフォン
15	平成27年7月26日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	3人	日本でびっくりしたこと	日本に初めて来たとき、びっくり したことを話す。ベトナムとの比 較。。。最後にスピーチ	菊地奈々子	アムトウイフォン
16	平成27年9月6日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	3人	自己紹介と家族紹介。	自己紹介と家族紹介をして、な ぜ日本に来たのか理由を詳しく 説明する。	菊地奈々子	アムトウイフォン

17	平成27年9月13日 14:00～16:00	2	三方原協働センター	3人	自己PR	名前を覚えてもらう。長所と短所を言う。名刺づくり。	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
18	平成27年9月20日 14:00～16:00	2	三方原協働センター	3人	身だしなみについて	絵を見ながら身だしなみで悪いところを言う。いい印象を与えるにはどうするのがよいか考える。	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
19	平成27年9月27日 14:00～16:00	2	三方原協働センター	3人	退室・座り方・エレベーターでのマナー	してはいけないことを学ぶ。(～してはいけません)*中秋の名月	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
20	平成27年10月4日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	場にふさわしい話し方	好印象を与える話し方を考える。相槌の打ち方。*衣替え	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
21	平成27年10月11日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	5人	敬語を使おう	敬語の種類。間違っている敬語を指摘する。ビデオでの会話を見てNGを考える。電話で上司と話す設定で練習。	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
22	平成27年10月18日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	携帯電話のマナー	電話の便利さについて挙げる。(経験話を) 職場などでの携帯電話のマナーを学ぶ。	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
23	平成27年10月25日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	遅刻や欠勤などの連絡	行動と言葉遣いについて悪いところを言う。(絵を見て) 実践(遅刻や欠勤を連絡する)	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
24	平成27年11月1日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	4人	訪問・接客	訪問時のマナー お茶を出された時の飲み方 実践)お茶の出し方	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
25	平成27年11月8日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	食事のマナー	食事中してはいけないこと 箸の使い方 お酒の勧め方(公での飲み方)	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
26	平成27年11月15日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	仕事の面接 日本人の仕事観	面接を受ける(態度・話し方)、質問に答える(実践)	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
27	平成27年11月29日 11:00～13:00	2	静岡県立浜北森林公園	3人	文化体験 紅葉を見ながらオリエンテーリング	ハイキング中の日本人に話しかける(お願ひするときの言い方) 日本の自然に親しむ。	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
28	平成27年12月6日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	文化体験振り返り	ハイキングをした人がしなかった人に説明する。 お名前を覚えていただませんか。写真を撮らせていただませんか(使役受け身)	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
29	平成27年12月13日 13:00～15:00	2	あいホール	4人	ビジネスEメール	メールで用件を伝える時のマナー・形式 ・あいさつ ビジネスと友達とのメールの違い	菊地奈々子	ファミトゥイフォン
30	平成27年12月20日 13:00～15:00	2	三方原協働センター	3人	マナーまとめ・各クラス合同発表会	クイズ形式で定着を図る 日本語教室の振り返り 各クラスのスピーチ	菊地奈々子	ファミトゥイフォン

<初級クラス

>

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月31日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	6人	オリエンテーション 自己紹介	アイスブレイク、絵カードを使って自己紹介「～することが好きです」	平野 理絵	沢田 優美
2	平成27年6月5日 19:00～21:00	2	カトリック三方原教会	3人	趣味について話す・尋ねる	「～することが(のが)好きです」疑問形	平野 理絵	沢田 優美
3	平成27年6月7日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	4人	趣味について話す・尋ねる	実践会話 お互いの趣味を知る。復習ワーク	平野 理絵	沢田 優美
4	平成27年6月14日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	11人	対面販売 見た目の感想を言う	「(形容詞)そうです」「形容詞)すぎます」「～てもいいですか?」「どうぞ」	平野 理絵	沢田 優美
5	平成27年6月19日 19:00～21:00	2	カトリック三方原教会	3人	対面販売 見た目の感想を言う・店員とのやりとり	実践会話 会話を創作してやってみよう 復習ワーク	平野 理絵	沢田 優美
6	平成27年6月21日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	12人	対面販売 店員としての販促のことば	定着度チェック サングラスを買うための会話 「こちら」「どうぞ」「どの～ですか(メーカー製造場所を聞く)」「お似合いです」「カードでもいいですか」	平野 理絵	沢田 優美
7	平成27年6月26日 19:00～21:00	2	カトリック三方原教会	3人	飲食店での会話 看板・メニューを読む	なんという意味ですか? ○○という意味です。なんと書いてありますか? ○○と書いてあります。	平野 理絵	沢田 優美
8	平成27年6月28日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	11人	飲食店での会話 看板・メニューを読む	自分(達)の状況に適切な店を選ぶ	平野 理絵	沢田 優美
9	平成27年7月3日 19:00～21:00	2	カトリック三方原教会	3人	飲食店の席予約の会話	定着度チェック 飲食店の席をとる側 と 店側の電話での会話 「何名様ですか」「喫煙席ですか禁煙席ですか」「確認します」「よろしいですか」	平野 理絵	沢田 優美
10	平成27年7月5日 14:00～16:00	2	カトリック三方原教会	12人	道をたずねる・教える	○○交差点までまっすぐ行きます・4キロぐらい行きます・右に曲がるとマックがあります・通りすぎます	平野 理絵	沢田 優美

11	平成27年7月12日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	12人	道をたずねる・教える	定着度チェック 料理教室会場 までの行き方をみんなに伝える。 料理教室で作るレシピの読み 合わせ。	平野 理絵	沢田 優美
12	平成27年7月17日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	病院で必要な会話	病院で自分の症状を伝える 〇〇が痛いです・喉がひりひりし ます。・おとといから熱が39度あ ります	平野 理絵	沢田 優美
13	平成27年7月19日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	12人	料理教室	料理教室 日本語で何といいま すか。	平野 理絵	沢田 優美
14	平成27年7月24日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	3人	印象に残ったことを文章 にする	料理教室の感想(よかったこと・ 失敗したこと)を話す・文章にす る オノマトペを使って表現しよ う	平野 理絵	沢田 優美
15	平成27年7月26日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	8人	発表しよう	総復習 ～発表しよう～	平野 理絵	沢田 優美
16	平成27年9月6日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	7人	自己紹介1、自分の説 明。	出身国、出身地、好きな食べ物 とその理由を伝える。お互いに 質問し合う。相づちをうつ。漢字	平野 理絵	沢田 優美
17	平成27年9月13日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	7人	自己紹介2 自分を印象 づける	名前の由来や意味を話す・聞く 〇〇は～という意味です。父が 考えました。漢字	平野 理絵	沢田 優美
18	平成27年9月20日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	5人	自己紹介3 趣味 仲間 をつくる	趣味を話題に交流→会話 なぜ 好きなのか説明→作文 音読練 習でイントネーションの意識付け	平野 理絵	沢田 優美
19	平成27年9月27日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	5人	飲み会の流儀・幹事の仕 事	自分が幹事ならどんな店を選ぶ か話し合う 飲み会用語の理解 お酒は強い?の質問への答え 方 連想ゲーム 漢字	平野 理絵	沢田 優美
20	平成27年10月4日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	6人	健康法1 体調不良とそ の原因を伝える	二日酔い/寝不足/重労働の症 状の表現 3本も飲みました、2 時間しか寝ていません 相手に アドバイスを言う時の表現 ～し たほうがいいですよ 漢字	平野 理絵	沢田 優美
21	平成27年10月11 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	健康法2 健康のための 習慣を話す	自分のことを言う・イラストの中 の人のことを言う わかっていて もやめられない自分の悪習を シェアする 漢字	平野 理絵	沢田 優美
22	平成27年10月18 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	9人	健康法3 自分の健康 法を話す	健康習慣 近未来の予測の表 現 ～したらどうなりますか? 〇〇になります 対話練習ロー ルプレイ	平野 理絵	沢田 優美
23	平成27年10月25 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	6人	初恋の人はどんな人	人物のパーソナリティーを表す 言葉を学ぶ(ほめる言葉)ひとつ の文の中で複数の形容詞をつな げて言う 漢字	平野 理絵	沢田 優美
24	平成27年11月1日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	6人	結婚式のスピーチをする	自己紹介、新郎(新婦)の日常 の様子、お世話になったこと感 謝していること、お祝いの言葉を 伝える 漢字	平野 理絵	沢田 優美
25	平成27年11月8日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	7人	季節の行事、風物詩	日本の季節の行事慣習について 簡単に話す。比較して自分の 国の行事について話す 漢字 連想ゲーム	平野 理絵	沢田 優美
26	平成27年11月15 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	ルール、規則について話 す	職場の規則について挙げてもら う ～することになっています ～ないようにします (必ず、絶 対に、なるべく、～以外は)→次 週のリクリエーションでの注意事 項 漢字	平野 理絵	沢田 優美
27	平成27年11月29 日 11:00～13:00	2	静岡県立浜北 森林公園	8人	森林公園で交流しよう	公園内のルールを守りながら、 仲間や、公園で逢った日本人と 交流する。	平野 理絵	沢田 優美
28	平成27年12月6日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	リクリエーション振り返り	欠席だったクラスメートに対し森 林公園で何をしたかを伝える	平野 理絵	沢田 優美
29	平成27年12月13 日 13:00～15:00	2	あいホール	3人	Eメールの書き方、マナー	文法 使役動詞 Eメールの書 く手順・マナー書き言葉、きまっ たあいさつ	平野 理絵	沢田 優美
30	平成27年12月20 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	全クラス合同発表会	ベトナムと日本の暮らしの違い について話す	平野 理絵	沢田 優美

ベトナムクラスへ

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月31日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	9人	はじめに	・名前、住所が、いえる。書け る。	西崎 稔	ドー ティ イェン
2	平成27年6月5日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	9人	たべもの(1)	・好きな食べ物を話す。 ・朝ご飯の習慣について話す。	西崎 稔	ドー ティ イェン

3	平成27年6月7日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	11人	たべもの(2)	・好きな料理を言う。 ・メニューを読む。 ・簡単な注文をする。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
4	平成27年6月14日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	11人	いえ(1)	・どんな家に住んでいるかいう。 ・家に何があるか言う。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
5	平成27年6月19日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	13人	いえ(2)	・家を訪問する。家で迎える。 ・家の中を案内する。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
6	平成27年6月21日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	13人	せいかつ(1)	・何かをする時間をいう。 ・一日の生活をいう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
7	平成27年6月14日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	13人	せいかつ(2)	・一日のスケジュールをいう。 ・平日と休みの日に、することを いう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
8	平成27年6月28日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	13人	休みの日(1)	・たくさんの趣味を知る。 ・趣味をたずねる。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
9	平成27年7月3日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	12人	休みの日(2)	・自分の趣味を話す。 ・自分の好きなTV,映画を話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
10	平成27年7月5日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	11人	休みの日(3)	・イベントに誘う。 ・イベントに行く約束をする。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
11	平成27年7月12日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	11人	街(1)	・指定された場所に行く。 ・タクシーで目的地へいく。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
12	平成27年7月17日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	8人	街(2)	・目的地まで、地図をみていく。 ・目的地までどうやっていくか話 し合う。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
13	平成27年7月19日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	10人	料理を作ろう(水餃子と揚 げ春巻き対決)	実際に料理に携わりながら日本 語に触れる。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
14	平成27年7月24日 19:00～21:00	2	カトリック三方 原教会	5人	街(3)	・周りの様子を話す。 ・今、どこのいるか電話で話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
15	平成27年7月26日 14:00～16:00	2	カトリック三方 原教会	8人	復習、発表	・自分の一日の様子を発表する 原稿を作成する。 ・自分の一日の様子を発表す る。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
16	平成27年9月6日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	5人	自己紹介	・自分の事を話す。 ・今の生活を話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
17	平成27年9月13日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	5人	家族	・家族について話す。 ・自分や家族が何をしているか 話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
18	平成27年9月20日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	5人	趣味	・趣味について話す。 ・友達の話にコメントをいう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
19	平成27年9月27日 14:00～16:00	2	三方原協働セ ンター	6人	季節	・季節について話す。 ・好きな季節とその理由をいう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
20	平成27年10月4日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	天気	・天気について話す。 ・天気をいってあいさつをする。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
21	平成27年10月11 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	6人	浜松の紹介	・浜松のおすすめの場所を話 す。 ・おすすめの理由を尋ねる。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
22	平成27年10月18 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	4人	場所	・場所への行き方をいう。 ・建物の特徴をいう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
23	平成27年10月25 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	4人	待ち合わせ	・待ち合わせの時間、場所へを いう。 ・遅れる理由をいう。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
24	平成27年11月1日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	6人	行事への勧誘	・友達を行事に誘う。 ・行事の誘いに答える。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
25	平成27年11月8日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	4人	外国語の学習	・日本語とベトナム語を比較す る。 ・日本語の難しい所を話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
26	平成27年11月15 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	4人	文化の比較	・日本とベトナムの文化を比較す る。 ・似ていることと違う事を話す。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
27	平成27年11月29 日 11:00～13:00	2	静岡県立浜北 森林公園	4人	森林公園で交流	・日本の人と交流する。 ・他のクラスの仲間との交流をす る。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
28	平成27年12月6日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	ピクニック	・持っていくものを話す。 ・希望を尋ねてみる。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
29	平成27年12月13 日 13:00～15:00	2	あいホール	4人	食べ物	・食べ物について話す。 ・食べ物をすすめる。断る。	西崎 稔	ドー・ティ・エン
30	平成27年12月20 日 13:00～15:00	2	三方原協働セ ンター	5人	体の具合/全クラス合同 発表会	・体の具合をきく。 ・体の具合を答える。・発表練 習。	西崎 稔	ドー・ティ・エン

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

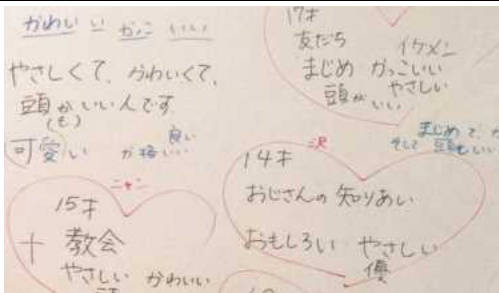
【第15回 平成27年7月26日】(各クラス合同)「合同発表会」カトリック三方原教会
→夏休み前、各学習者の学習成果を発表するということで、各クラス合同の発表会を実施。
入門クラスでは、一日の自分の生活を発表。初級クラスでは、授業で行ったお店でのやり取りを紹介する内容を発表。中級クラスでは、日本語を学んだ事を基に、自分はこれから何をしたいか、自分の言葉で発表した。どの発表も、5月に始まった頃と比較して、上達している事がわかった。



← 中級クラスの個人発表

取組事例②

【第23回 平成27年10月25日】(初級クラス)「初恋の人はどんな人」三方原協働センター
→学習者の初恋の人を紹介し、人物のパーソナリティーを表す言葉を学ぶ内容。学習者の誰もが関心のある話題なので、形容詞の表現がすぐに身についた。また、複数の形容詞を用いてつなげていう言い方も身についた。



← ホワイトボードに書かれた「初恋の人はどんな人」

(9) 目標の達成状況・成果

今年度は、学習を始める際、各学習者が自分の学びたい内容をアンケートに書いてもらい、その内容を参考にして各レベルの教師が教える内容を決めた。そのため、ある程度学習者に興味のある内容になったと考えている。
9月から、授業の最後において、学習者に指導者が作成したポートフォリオを記入してもらい、各学習者がその時間で学んだ事の理解度を記入するようになった。その事によって学習者の理解度が把握でき、次回の授業へ反映させることができた。
学習者へのアンケート調査、ならびに、各発表会の成果を見ても、各学習者に学習の成果が表れており満足すべき内容であったと考える。

(10) 今後の改善点について

・授業開始の時間が遅れがちで授業最後のポートフォリオの記入の時間がとれない場合が発生した。来年度は、先生方に授業開始の時間を守るようにしていただくのと、生徒たちに、時間に遅れて来たら、帰る時間も遅くなる旨伝えて、ポートフォリオの記入の時間をとっていただくようにしたい。
・全クラスで料理実習をおこない、各クラスの間で交流することはできたが、どうしてもベトナム語を用いた交流になってしまう傾向があった。来年度は、外部の日本人に入ってもらい料理を通して交流ができるように考えていきたい。
・技能実習生3名が日本語を学びたいとして通っていたが、日曜日でも仕事が忙しく通えなくなったとの事だった。技能実習生については、職場での学習を含め、他の外国人の団体や他の日本語教育団体とも協議していく必要がある。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(A)『生活者としての外国人』に対する日本語教師のための講座

(1) 講座名称

『生活者としての外国人』に対する日本語教師のための講座

(2) 目的・目標

日本人教師が、日頃行っている日本語の指導に対する疑問や理解できない点、悩みを日本語教育の専門家の方をお招きして、話を聞き対話することによって、解決することを目標とする。

(3) 対象者

「生活者としての外国人のための日本語教育」を実際に教えている日本語教師、バイリンガル教師、地域日本語コーディネーターを対象

(4) 使用した教材・リソース

講師自身が用意したリソース

(5) 受講者の総数 8 人

【出身・国籍別内訳】

中国	0人	インドネシア	0人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。 ・ ・ ・
韓国	0人	タイ	0人	
ブラジル	0人	ペルー	0人	
ベトナム	0人	フィリピン	0人	
ネパール	0人	日本	8人	

(6) 開催時間数(回数) 12 時間 (全 4 回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成27年11月14日(土) 14:00～17:00	3	浜松科学館会議室	8名	生活者のための日本語教育の歴史	I.世界言語教育の潮流 ・言語教育界のパラダイム・シフト ・CEFR の必要性 ・CEFR の理論的枠組み II.日本語教育界の展開 ・CEFR → JFスタンダードへ ・日本語教育学会における取組 III.生活者のための日本語教育の展開 ・CEFR/JFスタンダード → 生活者のための日本語教育カリキュラムへ ・文化審議会国語文化会日本語教育小委員会での取組 ・標準的なカリキュラム案へ	西原 鈴子	
2	平成27年11月28日(土) 13:30～16:30	3	浜松科学館会議室	6名	難民に対する生活者のための日本語教育	(1) 難民受け入れの経緯 ・難民とは? ・難民受け入れの経緯 (2) 難民に対する日本語教育 1.インドシナ難民に対する日本語教育事業 ・定住支援教育 生活指導、社会生活への適用指導 ・リソース型生活日本語の開発へ 2.条約難民に対する日本語教育 ・日本語教育と生活指導、就労支援 ・条約難民に対する自立支援 (3) 日本社会と日本語教育への影響 ・「生活者としての外国人」のための日本語教育誕生へ ・様々な教授法による実践と研究 ・地域日本語ボランティアの誕生へ	岩見 宮子	

3	平成27年12月5日 (土) 13:30～16:30	3	クリエート浜松	6名	生活者のための日本語教育において文法をどのように扱うのか	1. 実際に教える生活者としての学習者の事を知る。 ・学習者のニーズを知る。 ・学習者が学んでおきたい日本語を知る。 ・地域、職場、家庭など、様々な環境で必要な日本語を知る。 2. 生活者のための日本語を教える授業を組み立てる ・生活者である外国人が日本語が必要となる場面を見つける。 ・日本語が必要となる場面での会話を考える。 ・会話で必要となる表現(基本文型)を見つける。	袴田 麻里	
4	平成27年12月12日 (土) 13:30～16:30	3	クリエート浜松	6名	生活者のための日本語教育において文法をどのように扱うのか	3. 日本人にとっての日本語文法と外国人にとっての日本語文法 ・学習者が文法を知らないとうなるか。 ・授業中で文法を扱う優先順位 ・実際に文法をどのように教えていくのか。 4. 生活者のための日本語教育における文法の扱い ・文化庁のカリキュラム案における文法の扱い ・実際の授業を作成する際の文法の扱い ・外国人に文法を教えるコツ	袴田 麻里	

(8) 特徴的な活動風景(3回分)

取組事例①

【第1回 平成27年7月26日】生活者のための日本語教育の歴史 西原 鈴子 先生
→ 西原先生は、まず、言語教育界のパラダイムシフトである、言語教育の目標が「ことばについて何を知っているか。」から「ことばで何ができるか。」にシフトした事を説明された。そのシフトの背景としての社会的状況あり、CEFRが生まれた経緯を説明された。CEFRを欧州各国で取り入れられた理由として、移民が多い欧州では相互理解と相互尊重するために共通の指標を用いる事が必要であり、その指標が妥当であることを証明されている事が必要だと言われた。その考え方が、文化庁の日本語教育カリキュラム案において反映されており、実際、学習者、指導者の評価としてのポートフォリオ、教材例などに反映されているとお話した。現在、私達が行っている日本語教育の理論的根拠を学んだ講座であった。

生活者のための日本語教育の歴史

国際交流基金日本国際センター
所長 西原鈴子

取組事例②

【第3, 4回 平成27年12月5, 12日】生活者のための日本語教育において文法をどのように扱うのか 袴田 麻里 先生
→ 袴田先生は、生活者のための日本語教育においても、「文法」をある程度教えるべきだという立場から、日本語教育をなさっておられる。今回は、具体的に、生活者が学びたい事項(例えば、バスに乗る)の授業を組み立てる場合において、どのように文法事項を含めて日本語を教えていくのか学んだ。まず、文法を教える上で学習者が、どの程度文法を必要とする立場なのか理解した上で文法を教える必要があるということである。通常、日本語を学ぶために日本語を習いに来ているのではなく、生活をするため手段として学ぶということを理解しわかりやすく最小限教える事が大切である。基本的な文型を説明した後、様々な場面で使う上で、文法が役に立つことを気付かせることが大切であると学んだ。文化庁のカリキュラム案(1)にも、分類毎に必要な文法事項が示されているが、必ずしも教えなければならない事項ではなく、適宜必要な時に、授業で取り上げることができるようにしておくことが大切であると学んだ。



(9) 目標の達成状況・成果

昨年度と同様にアンケートにて成果を検証した。アンケート結果から 受講者の全員にとって満足できる研修であったとの評価だった。研修中は、少人数であり、講義や実習を進めながら、質疑応答が可能であり、また非常に興味深い内容であったため、満足できる高評価になったと思う。

(10) 今後の改善点について

今年度は、メール、Facebook 等を利用して最大限の広報活動を実施したが、人数が少ない結果となった。特に11月は他の日本語団体の行事に重なり集客が難しかった。来年度は、開催時期と、開催時間、開催場所を考慮したい。

(B) 日本語教師のための「ベトナム語とベトナム文化講座」

(1) 講座名称

日本語教師のための「ベトナム語とベトナム文化講座」

(2) 目的・目標

在日ベトナム人に教える日本語教師、バイリンガル教師が、ベトナム語とベトナムの文化を日本語と日本文化と比較しながら学ぶことで日本語の指導における疑問を解決することを目標とする。

(3) 対象者

在日ベトナム人に日本語教育をしている日本語教師、バイリンガル教師。ベトナム語、ベトナム文化に興味を持つ人。

(4) 使用した教材・リソース

みんなの日本語 文法解説 ベトナム語版

(5) 受講者の総数 6 人

【出身・国籍別内訳】

中国	0人	インドネシア	0人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。 ・ ・ ・
韓国	0人	タイ	0人	
ブラジル	0人	ペルー	0人	
ベトナム	0人	フィリピン	0人	
ネパール	0人	日本	6人	

(6) 開催時間数(回数) 20 時間 (全 10回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成27年7月31日 (金) 19:00～21:00	2	三方原協働センター	6人	ベトナム文化 & ベトナム語文法	今回の講座の進め方の説明。ベトナム語の基本的な文法の復習と、日本語とベトナム語の発音の違いの話。日本語の文法をベトナム語で説明する場合の注意点など。	西崎 稔	
2	平成27年8月2日 (日) 14:00～16:00	2	三方原協働センター	6人	毎日のあいさつと会話表現 教室の指示の言葉	発音の復習、簡単な挨拶と会話の復習。教室で使うベトナム語の指示の文。	山田 明	
3	平成27年8月7日 (金) 19:00～21:00	2	三方原協働センター	5人	初対面の人との挨拶	～は～です。～は～ですか。～は～歳です。	山田 明	
4	平成27年8月9日 (日) 14:00～16:00	2	三方原協働センター	5人	指を指して物の名前をきく。	これは～です。これは～の～ですか。この～は～です。	山田 明	
5	平成27年8月21日 (金) 19:00～21:00	2	北部協働センター	5人	物のありか、場所などをきく	ここは～です。～はあそこ。～は～の～です。	山田 明	
6	平成27年8月23日 (日) 14:00～16:00	2	三方原協働センター	5人	時刻、曜日、簡単な日常行動が言える。	～時～分です。～は～時～分から～時～分までです。	山田 明	
7	平成27年8月28日 (金) 19:00～21:00	2	三方原協働センター	5人	乗り物を利用して外出する。	～へ行きます。～で行きます。～に行きます。	山田 明	
8	平成27年8月30日 (日) 14:00～16:00	2	三方原協働センター	5人	基本的な行動をいう。	～を～ます。～で～ます。いっしょに～ませんか。	山田 明	
9	平成27年9月4日 (金) 19:00～21:00	2	三方原協働センター	5人	わからない言葉を尋ねる。	～は～で～です。私は～に～をあげます。私は～に～をもらいます。	山田 明	
10	平成27年9月6日 (日) 14:00～16:00	2	三方原協働センター	5人	感想、様子が言える。	～は～(形容詞)です／じやありません。くないです。	山田 明	

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例①

【第1回 平成27年7月31日】ベトナム文化&ベトナム語文法

→今回の講座の進め方の説明。日本語のテキスト学習のテキストを基に、そのベトナム語の訳を見ながら、日本語とベトナム語を対比させて学ぶとの事。ベトナム語の基本的な文法の復習と、日本語とベトナム語の発音の違いの話もおこなった。

取組事例②

【第2回 平成27年8月2日】毎日のあいさつと会話表現、教室の指示の言葉

→ベトナムにおける語学学習の授業の進め方を聞きながら、実際に教室で使う指示の表現を学んだ。ベトナム語は、人称により相手に対する話し方が異なるので、実際に使用する可能性が高い若者に対する表現を前提になった。

(9) 目標の達成状況・成果

研修終了時に受講者に対しヒヤリングを行い目標の達成状況ならびに成果を確認した。

ベトナム語は日本語と比較して発音が難しいため、通じるのは難しいが、間違えやすい箇所を注意すれば間違えも通じる場合があるとの事。しかし、通じない場合も多々あるので、発音練習は欠かせないとの事。

(10) 今後の改善点について

研修終了時に受講者に対しヒヤリングを行い目標の達成状況ならびに成果を確認した。

ベトナム語は日本語と比較して発音が難しいため、通じるのは難しいが、間違えやすい箇所を注意すれば間違えも通じる場合があるとの事。しかし、通じない場合も多々あるので、発音練習は欠かせないとの事。文法は簡単であるが実際の発音が難しく練習が必要なことが理解できた。日本語の授業においては、適宜ベトナム語が使えるようにする事が必要である。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1)教材名称

浜松くらしの中の日本語4（ベトナム語版）

(2)対象

在日ベトナム人の日本語が中級レベルの受講者を対象とするが、初級クラスのベトナム人でも役に立つような内容とした。

(3)目的・目標

浜松地区の在日ベトナム人を対象とした生活者のための日本語教材の作成を目標とする。

(4)構成（総ページ数： 74 ページ）

全15課	
第1課	家を紹介する（1）..... 2
第2課	家を紹介する（2）..... 6
第3課	仕事を紹介する 10
第4課	安く生活する工夫 16
第5課	天気図を読む 20
第6課	症状を言う（1） 26
第7課	症状を言う（2） 30
第8課	健康を保つ 34
第9課	料理を作ろう 38
第10課	携帯電話のマナーを知る 44
第11課	電話連絡をする 48
第12課	敬語で話す 54
第13課	訪問のマナー 58
第14課	面接を受ける 64
第15課	Eメールのマナー 72

(5)教材の具体的な活用方法

・ベトナム対象の生活者のための日本語講座 中級クラス テキストとして使用

(6)具体的な活用例

上記（4）構成 で示された様々な場面での活用が考えられる。
（例） 仕事で上司に向かって話す場面。（第12課 敬語で話す）

(7)成果物のリンク先



8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

本事業は、静岡県に在住する在日ベトナム人を主な対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力等を習得するために、静岡県浜松市の地域実情に応じた日本語教育実践プログラムを行うことを目的とする。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

静岡県西部地区における在日ベトナム人は、約1500人在住しており、彼ら全てが日常生活を営む上で必要となる日本語能力を習得しているとはいえないのが現状である。しかし今年度この日本語事業を継続する事により、若者を中心に日本語によるコミュニケーション能力を身につけており成果があがっている。今年度はアンケートにより学習者のニーズを踏まえたうえで地域の日本人とコミュニケーションをとりやすい内容を学習し、実際に野外活動において日本人と話が出来るレベルになったと考える。今後、運転免許の取得、携帯電話の購入など日本語講師だけでは対応しにくい内容を企業や地域社会と協力して取り組んでいく必要があると考える。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

下記3点について具体的にカリキュラム案を活用した。

1) 「生活者のための日本語講座」で学習する内容の項目を決める時
学習する内容の項目を決める際、①カリキュラム案、②ガイドブックを使用。実際は、受講者にベトナム語の生活者行為の項目をそのまま見せて、必要な10項目を選択させて調査した。①カリキュラム案に示された項目は多いが、受講者のニーズもその中の項目に一致しない場合があるので、今後も別の観点で検討項目を増やしていく必要があると考える。

2) 人材育成講座のテキストとして
西原先生、岩見先生の『「生活者としての外国人」のための日本語教育の歴史』の講座で参考資料として使用された。カリキュラム案を作成されるまでの具体的な歴史について解説された。

3) テキスト作成の参考例として

一昨年度、昨年度に引き続き、テキストの形式は③教材例集を利用して作成している。従来のテキスト形式を利用することで、わかりやすい形式を継続するとともに、難しい編集作業の軽減を行っている。(Word上で編集する方法)

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

浜松市国際交流協会(HICE)の日本語教育育成事業を通して浜松地域の各種日本語教育団体と連携を取り日本語教育の事業を進めることができた。具体的には、中級レベル以上の日本語能力試験対策などの指導を他の団体に紹介して指導していただいたり、逆にベトナム人の初級の受講者を紹介して学びやすい環境で日本語を学べるような連携を行った。また、技能実習生に関する情報を浜松市国際交流協会(HICE)ならびに他の外国人の団体と協力して実状を調べたりした。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

今年度から「静岡県ベトナム人協会」のFacebookページを立ち上げ、日本語講座への参加を呼びかけた。その事によって、従来の若者のコミュニティだけでなく、技能実習生の若者や中国の若者も新たに参加することになった。また、事情に現在ベトナムに帰国している学習者からも、ベトナムで日本の学習者の様子がわかり自分の日本語学習の励みになるとの連絡があった。ベトナム人コミュニティを研究している大学の先生方とのコミュニケーションも生まれ、情報発信のツールとして有効であることがわかった。今後も、Facebookページを利用して参加者への周知・広報に努めたい。地域の他の団体への発信も引き続き行いたい

(6) 改善点、今後の課題について

改善が必要であり、今後の課題として考えられるのは以下の2点である。

1) 3年後を見据えた、日本語教室活動の自立について。

文化庁から3年後に委託事業を終了するとの方針がだされ、事業を受諾している各団体においても事業の自立に向けた取り組みが

始まったところである。静岡県ベトナム人協会においても、現在、資金調達の目途が立っていない状態であり今後自立に向けた取組が必要となる。まず、浜松国際交流協会(HICE)とも相談して、日本語教育事業を継続できるように検討していく予定である。

2) 子供をもつ親の世代の日本語教育

当協会における日本語教育の対象者が若者を中心とした世代に集中しており、子供が生まれると、家事や育児で忙しくなり教室に通ってこないのが現状である。今後日本で生まれた子供を教育する上で、日本語を学ぶ事が必要となっており、子供の持つ親のための日本語教室が必要と考える。来年度の日本語教室において具体的に実施していきたい。

(7) その他参考資料

学習ポートフォリオ等は別途添付した。 ※ポートフェリオはHPへの掲載は無し